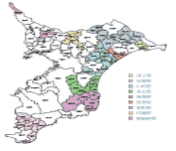




隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00～15:00

山火事予防には天祐となった雨の中、令和7年度千葉県隊友会通常総会において令和7年度事業計画等が承認され、続く表彰式では海上自衛隊下総教育航空群様及び5名の会員に対して感謝状を贈呈させていただきました。そして防衛講話においては国会対応等で多忙を極められている佐藤正久参議院議員が最優先で調整していただき国政の立場から見た最新の安全保障環境について講話をいただきました。また、懇親会には国会議員4名を含む特別会員25名、教育航空集団司令官國見海将をはじめ多くの在葉部隊指揮官等、関係防衛協力団体のご参加を得て和やかに開催でき、令和7年度の幕開けとすることができました。ありがとうございました。

会長 菊地 聡



集環境にはまだまだ変化をもたらしていないという焦燥感が入り混じったものとなっています。加えて自衛隊の名誉と誇りという点に関してはまだまだ不十分であり、声をあげ続けていかなければならないと考えます。引き続き、千葉県隊友会は地域に根差した国民と自衛隊とのかけ橋としての活動を行うとともに隊員家族支援に係る連携強化を図ってまいりますので会員の皆様にはご協力をお願いいたします。

終わりとなりますが平素から我々の活動にご理解とご協力を賜っております特別会員の皆様、現職自衛隊員の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。あわせて皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。お待ちしております。

「即応予備自衛官として」

県本部 理事役 小芝寛海

私は郵便局員として勤務する傍ら、平成十八年に予備自衛官補として志願し、平成二十年九月に公募予備自衛官に任用されました。親が自衛官だったこともあり幼いころから自衛隊に興味は持っていました。体力も無く地元志向だったということもあり、郵便局に入局しました。

二十代の頃にほんやりと国や地域を守るということ、周辺国の脅威について考えるよ

うになりました。ただ、考えや知識だけを増やしても頭でっかちになってしまったため、少しでも国を守るために働ければと予備自衛官補を受験しました。予備自衛官補採用後、予備自衛官任用のための訓練を無事に終了し、晴れて予備自衛官に任用されました。予備自衛官に任用されてから、十年ほど経ったところ、国際情勢の緊張感も高まっております。「もつと世の中の力になりたい」「一つ上にチャレンジしたい」という気持ちを抱くようになりました。

そんな時に地本の担当者よりお声がけして頂き、年齢や職場環境を考慮すれば今を逃すともう難しいと決断し、即応予備自衛官を志願しました。現在も即応予備自衛官を目指して特技取得訓練に参加しているが、学ぶことも濃くとても新鮮な日々を過ごしております。若い仲間と一緒に訓練を受けるのは肉体的には辛いですが、人生のスパイスになっております。最後に「職業・環境・年齢などバラバラであるが、何かしら似た思いを持って訓練に出頭し、同じ釜の飯を食う先輩や仲間たちに出会えたことが何よりも嬉しい。

これから、日本の国防にほんの僅かかもしれないが寄与していきたいと思う。

そして、千葉県隊友会理事役として、今後も諸先輩とともに楽しく活動したいと思っています。

『予備自の皆さん、一緒に隊友会で活動しましょう！』



“令和7年度千葉県隊友会通常総会”開催

下総教育航空群
司令 尾畑1佐に
感謝状贈呈



総会終了後、表彰式を実施し、令和六年度千葉県隊友会活動、特に部隊研修のご支援に感謝し、海上自衛隊下総教育航空群に感謝状を贈呈しました。また、隊友会支部活動等にご尽力された会員五名に会長から表彰状を授与しました。



議長：今瀬 千葉中央支部長



司会進行：県本部 藤田理事役

千葉県隊友会 総会



感謝状・会長表彰の受章者

沼南支部 上村英志
木更津支部 桂井功一
林 淳一
(代理：清水支部長)
下総教育航空群 群司令 尾畑一佐
沼南支部・県事務局 高瀬孝代
成田支部 小山昭

令和七年度千葉県隊友会通常総会を四月二十三日にロイヤルパインズホテル千葉（千葉市中央区中央）において開催され、会長以下県本部、各支部長等および顧問・参与の会員合わせて四十六名が出席しました。国歌斉唱、四十八名の物故者に対する黙とう、会長挨拶に続き、議長に選出された千葉中央支部長の今瀬支部長の議事進行に基づき、大根事務局長から令和六年度事業報告・決算報告、河西監事役から会計監査報告がなされ、また、令和七年度事業計画・予算計画および令和七年度役員・支部長選任の五個議案が報告され、参加者による審議を経て全てが可決されました。

防衛講演会

佐藤まさひさ参議院議員
演題「我が国の安全保障環境について」

休憩をはさみ、恒例の「防衛講演会」を開催し、今回は、「参議院議員 佐藤まさひさ氏」をお招きして、最新の外交・安全保障情勢と防衛施策および自衛官の処遇改善のための国会活動等について、貴重な講演をいただきました。

懇親会

懇親会は、場所を隣の会場に移動し、国会議員・県市議会議員等の特別会員、関係諸団体の皆様、千葉県庁災害・危機対策監等および海自教育航空集団司令官國見海将以下、陸海空在葉部隊指揮官十〇名の出席をいただき、総勢八十七名による隊友会らしい懇親会を開催しました。開始にあたって、衆参国会議員の挨拶と千葉県議会議員・各市議会議員十三名のご紹介の後、在葉部隊指揮官の紹介と代表して國見海将によるご挨拶を頂戴した後、新着任の陸自高射学校長久保陸将補による乾杯により開宴、会長以下支部長はご来賓と親しく懇談して、千葉県庁の新宅対策監（陸自OB）の乾杯により閉会しました。

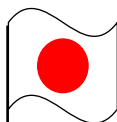
千葉県隊友会 懇親会



國見海将のご挨拶



佐藤まさひさ参議院議員の講演



受章者の皆様

誠にありがとうございます

春の叙勲

危険業務従事者 瑞宝単光章

佐倉支部
松戸支部安部 宗悦(陸 習志野駐屯地業務隊)
北川 辰三(陸 需品学校)

危険業務従事者 瑞宝双光章

柏支部

内野 俊也(陸東京地本)

山武東金支部 伊藤 隆(陸 第十一旅団)
柏支部 田中 仁(空 航空保安管制群)
鎌ヶ谷支部 塚本 賢二(空 航空中央業務隊)
船橋支部 寺谷 猛(陸 補給統制本部)
柏支部 野田 耕平(空 航空総隊司令部)
千葉稲毛支部 松山 守秀(海 下総教育航空群)
安房支部 三好 文雄(空 第3輸送航空隊)

瑞宝小綬章

新任
花見川支部長 片山 隆仁(技)
理事役 柴田 博美(陸)
顧問 神原 誠司
理事役 門岡 慎也
我孫子支部長 豊嶋 尉史
鎌ヶ谷市牛腸 坂本 祥貢
退任令和七年度 千葉県隊友会
役員および支部長の新任・退任

令和7年度隊友会本部 定時総会における議決権の行使要領

R7年度隊友会定時総会における議決権の行使は、原則として電磁的方法(メール)により代理人(千葉県は、菊地聡会長)に委任していただきます。
その要領は下記のとおりとします。(議案は、「隊友5月号」に掲載)

携帯電話(スマホ)
QRコード読取り※昨年までの返信ハガキの
郵送および支部毎の一括署名
による委任は、実施しません。

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目26-9
コンラッドビル4階

電話：043-306-2095

FAX：043-306-2096

Eメール

chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp

ホームページ

http://www.chibataiyuu.com/

議決権の代理行使書(遠隔者等用)

宛先 (都・府・県・地方) 隊友会代理人
 殿

私は、令和7年6月24日開催の令和7年度定時総会における各議案について、貴方を代理人と定め、全議案を代理人に一任します。

令和7年 月 日

議決権代理行使委任者

住所 〒 氏名

[注]

- 1.本様式は、全議案を代理人に一任する場合に使用する。
- 2.本様式は、電磁的方法(メール)により送付し、止むを得なければ、FAX又は切り取ってはがきに貼付し郵送し議決権の代理行使を行う方法に活用する。

◆本様式に必要事項を記入し、支部長にメール送付

(支部長のメールアドレス不明の方は、県本部に直接メール送付。回答がない場合、委任に同意とみなします。また、ご意見は、支部長を通じて提出)

※支部長は、委任者数(回答者数)を県事務局に報告

◆ 船橋支部

船橋の地名は、市内中心部を流れる海老川の「船を並べて上に板等を渡して作った橋」の故事に由来します。現在では川幅も狭く小河川の海老川ですが、昔は川幅も広かったようです。今では桜の名所、ジョギングコース等として市民に親しまれています。

船橋支部は15個分会、会員237名（特別会員10名含む）大所帯です。月1回習志野駐屯地会議室をお借りし、隊友会新聞の配付作業に併せて会同等を行い、情報交換に努めています。



海老川の桜堤

◆ 6月

習志野駐屯地隊員家族安否確認実動訓練

◆ 9月

習志野支部・市川支部の協力を得て千葉、県葛南地区防災備蓄倉庫物資払出し訓練、年2回

習志野駐屯地隊員の定期異動前引越し見積り説明会

◆ 6月、8月、11月

市内大穴地区にある嗚呼海軍七勇殉難の跡碑（航空機墜落事故の犠牲者慰霊碑）周辺の草刈りと慰霊

◆ 習志野駐屯地行事

創立記念日、夏祭り、初降下訓練展示等への参加、

◆ 毎年2回

予備自衛官招集訓練時の講話等



以上の活動を元気づけたい活動しています。ただ、会員の高齢化、新規会員の減少等の問題も他の支部と同様に抱えており、悩みは尽きません。

◆ 本年2月

県本部大根事務局長および会勢拡大担当の茂木理事役に来ていただき、習志野駐屯地の定年退官予定者及び各部隊人事担当者等に対して隊友会の説明会を開催しました。会勢拡大につながる第一歩と期待しています。

◆ 四街道支部

昭和56年4月に市制が施行されて以来44年、県都千葉市へ8キロ、都心へ40キロ圏内に位置するベットタウンとして発展し近年人口が増加している四街道市は、明治時代以降軍都として繁栄した歴史も併せ持つ魅力ある街。そして会員約170名を誇る我が四街道支部は令和5年1月、役員25名の約半数が65歳以下、そして退官数年以内という若き体制（筒井紀詔支部長）をスタートさせ、「一人一人の行動、実践」をモットーに活発な活動を展開しています。新たな時代を迎えた自衛隊と国民を結びつける真の意味での「国民と自衛隊とのかけ橋」になることを目的に活動するとともに、全ての活動を会勢拡大につながることを意識して個々の事業に取り組んでいます。特に下志津駐屯地の現職自衛官との交流事業は相互理解を深めるとともに隊友会への入会促進につながる貴重な事業です。

また、毎月発行する「支部便り」を通じて支部の活動状況、新たな防衛政策、厳しい自衛官募集の状況等必要な情報を幅広く提供して会員の自主的な活動を促進しています。年始には、賀詞を交歓する新年交流会を開催し四街道市長、特別会員の皆さんとの交流を深める事業にも取り組み、隊友会及び自衛隊の理解促進の一翼を担っているところです。

（文責：副支部長 奥村晶一）

